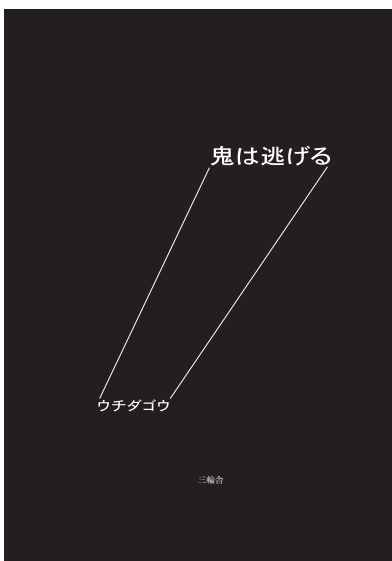




ウチダゴウ

鬼は逃げる

長野・安曇野のアトリエ「してきなしごと」を拠点に創作する原野の詩人・ウチダゴウ。ALPS BOOK CAMP での「詩と朝ごはん」、毎年末松本で開催される朗読会「花とボタンホール」で喝采を浴び、雑誌『nice things』の毎号の冒頭を飾る「詩めぐり」でその知名度はすでに全国区となっている彼は、毎年スコットランドに滞在し現地で創作と発表、詩壇に属さず、中央から距離を置き、ラディカルであるよりもオルタナティブでありつづける。その存在は震災から10年を迎える2021年に一層光彩を放つことは間違いない。本書『鬼は逃げる』は詩人として本格的に仕事をはじめてからの10年を〈紙上の朗読会〉形式で振り返る自選詩集である。



価格 2200円+税
 発売日 2020年12月26日
 ISBN 9784990811686 C0092
 判型 B6変形 / 176ページ / 上製
 装丁 高田 唯 (Allright Graphics)
 校正 牟田 都子
 印刷 藤原印刷
 製本 渋谷文泉閣
 ※本文オールUV印刷

速報！

明日2月23日（火）信濃毎日新聞朝刊
 安曇野在住、長野を拠点に活動する詩人
 ウチダゴウと『鬼は逃げる』
 について特集記事が掲載されます！

梨木香歩さん推薦!

人生のいつとき
 詩人になることはたやすい
 そういう人を何人も見てきた
 心の叫びを 哀歓を
 詩にしてきた若者たちが
 就職し 家庭を持ち
 生活のなかでいつしか
 詩とは無縁の日々を送っている
 詩人で在り続けることは
 かくも難しい
 十年前 東京から松本へ移った
 ウチダさんに
 詩人であることをやめないでください
 と私は 無責任にも いった
 たとえこの先
 詩と無縁の生活を送ることになっても
 詩人で在り続けることはできる
 そういう証が 欲しかったのだと思う
 ウチダさんは 生活も 仕事も
 詩から遠ざけなかった
 風から与えられ 自力でつかみとり
 見い出したいいくつものツールで
 言葉の源流へと遡行する
 長い長い 旅のために
 そういう詩人になった

ウチダゴウ

profile

1983年生まれ。立教大学法学部卒。2010年、詩とデザインのアトリエ「してきなしごと」を開業。詩人としての活動と並行して、グラフィックデザイン、コピーライティング、ギャラリーの企画運営を行う。全国各地で、個展・朗読会を開催。近年では、英国・スコットランドを度々訪ね、現地での執筆・朗読・個展活動を行っている。詩集に『空き地の勝手』（してきなしごと）『原野の返事』（同）ほか。

直取引代行
トランスビュー

三輪舎の書籍はトランスビュー取り扱いで納品します。直接取引の条件は、トランスビューの商品とすべて同じです（随時返品可）。取次ルートの場合は、八木書店経由です（買切・返品不可）。トランスビューとのお取引がないお店からのご注文は、小社からご連絡いたします。

貴店名

ご注文数

ご担当者様

部

